

## 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトの取り組み（～2019年度）

年度	取組	8つの事業項目(※)
2013	10月 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト 発足	(イ)在宅医療・介護の連携の課題の抽出と対応策の検討
	3月 第1回多職種連携研修会「医師会と介護事業所等の連携強化」開催	(カ)医療・介護関係者の研修
2014	9月 第2回多職種連携研修会「歯科医師会、医師会と介護事業所等の連携強化」開催	(カ)医療・介護関係者の研修
	3月 ・第3回多職種連携研修会 「認知症初期集中支援チームの活用から医療機関・介護保険サービスにつなげるまでの連携のあり方」開催	(カ)医療・介護関係者の研修
	・救急医療情報キットの配布開始(市医師会所属の医療機関より)	(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
2015	死亡小票調査を実施。現状と合わせて、将来推計を算出	(ア)地域の医療・介護サービス資源の把握
	8月 第4回多職種連携研修会「認知症ケアにおける多職種連携」開催	(カ)医療・介護関係者の研修
	2月 第5回多職種連携研修会「救急車の適正利用について」開催	(カ)医療・介護関係者の研修
	3月 Dr. Link 南地区でテスト運用開始	(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援
2016	4月 ・グループ診療部会を設置。 町田市版グループ診療モデルを検討開始。	(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
	・高齢者支援センターでも救急医療情報キットの配布開始	(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
	9月 第6回多職種連携研修会「みんなで知ろう 町田の医療と介護」 市民向けイベントとして開催	(カ)医療・介護関係者の研修 (キ)地域住民への普及啓発
	10月 在宅医療・介護に関する専門職向けの相談窓口	(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援

	「医療と介護の連携センター」を開設	
2016	11月 2013年より運用開始した「町田市入院時・外来受診時情報提供書」を「ケアマネサマリー」として運用開始	(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
	2月 第7回多職種連携研修会「介護現場における感染症対策」開催	(カ)医療・介護関係者の研修
	3月 市民向けガイドブック「住み慣れたわが家で自分らしく生きたい」10,000部作成。市内の医療機関、高齢者支援センターなどで配布	(キ)地域住民への普及啓発
2017	4月 ・忠生地区をモデル地区として町田市版グループ診療モデル運用開始	(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
	・Dr. Link 町田市全域運用開始	(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援
	6月 退院支援プロジェクト部会を設置	(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
	9月 第8回多職種連携研修会「高齢者の運転について」開催	(カ)医療・介護関係者の研修
	3月 第9回多職種連携研修会「住み慣れたわが家で自分らしく生きたい～市民みんなで支える在宅療養～」を市民向けイベントとして開催	(カ)医療・介護関係者の研修 (キ)地域住民への普及啓発
2018	8月 第8回多職種連携研修会「消化器がんについて」開催	(カ)医療・介護関係者の研修
	12月 第11回多職種連携研修会「在宅療養とおかねのはなし～脳卒中で倒れたら～」を市民向けイベントとして開催	(カ)医療・介護関係者の研修 (キ)地域住民への普及啓発
	町プロ・シンボルマークの決定	(キ)地域住民への普及啓発
	3月 改訂版ケアマネサマリーの運用開始	(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

※ 介護保険法で規定する包括的支援事業の1つである「在宅医療・介護連携推進事業」について、厚生労働省が示した事業項目のこと。

2019	6月 医療・介護資源マップ部会を設置 町田市版地域資源マップの検討開始	(ア)地域の医療・介護サービス資源の把握
	7月 退院調整シート試験運用開始	(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援
	8月 第12回多職種連携研修会「在宅の医療行為に おける多職種連携について～ 喀痰吸引を中心～」開催	(カ)医療・介護関係者の研修
	12月 第13回多職種連携研修会「救急車が必要なのはどんな時？～救急車を 上手に使いましょう～」を市民向けイベントとして開催	(カ)医療・介護関係者の研修 (キ)地域住民への普及啓発
	2月 シンボルマークステッカーを作成	(キ)地域住民への普及啓発

※

以下の8つに分類する。

(ア)地域の医療・介護サービス資源の把握

(ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援

(キ)地域住民への普及啓発

(イ)在宅医療・介護の連携の課題の抽出と対応策の検討

(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

(カ)医療・介護関係者の研修

(ク)在宅医療・介護連携に関する関係区市町村の連携